ステアリング事業

旧自動車部品事業（ステアリング部門）

ステアリング事業売上／
売上高合計（2016年度）
48.4%

自動車向けのステアリングを提供しています。
世界で初めて電動パワーステアリング（EPS）を開発・量産し、
小型車から大型車まで、あらゆるニーズに応えてきた経験と技術力を強みとして、
クルマの進化に貢献していきます。

1988年初代EPS
スズキ株式会社セルボ搭載

TOPICS

ラックパラレルタイプEPS（RP-EPS）

資料-01

自動車の低燃費化への貢献

従来、油圧式パワーステアリングを採用していた中・大型車市場においても、燃費効率に優れるEPS化が進むと考えられている中で、ジェイテクトは2016年12月に中・大型車向けEPS、ラックパラレルタイプEPS（RP-EPS）の量産を日本（花園工場）で開始しました。

また、グローバル市場での中・大型車のEPS化を見据え、北米・中国を皮切りに体制を整えていこうとしています。高度運転支援・自動運転の実現に向けて今後も技術開発を加速させ新たな価値を提供していきます。

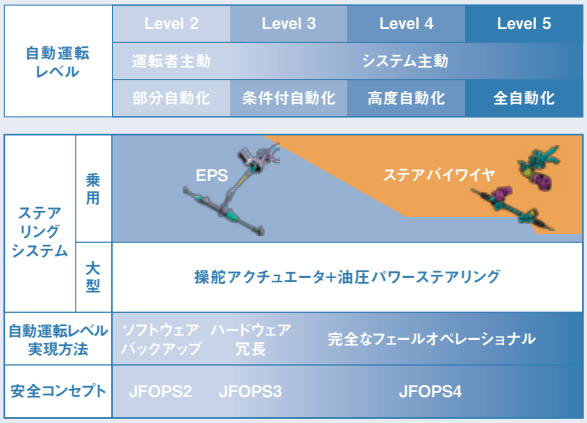
→ F_02〜03 関連記事

JFOPS対応EPS

JFOPS（JTEKT Fail-OPerational System）

自動運転を見据え、EPSのさらなる進化を追求

自動運転の実現には、何らかの問題が起きてもハンドル操作へのアシストを継続できる設計のEPSが必須となります。ジェイテクトはその対応に早くから取り組み、開発を推進。「完全なフェールオペレーショナル」のEPSを2020年頃から量産開始することを想定しています。



＊ C-EPS、P-EPS、DP-EPS、RP-EPS、RD-EPS、H-EPS、HPSは株式会社ジェイテクトの登録商標です。
＊ JFOPSは株式会社ジェイテクトの登録商標です。

2016年度の振り返り

1 売上高は前年度比5.9%減の6,382億円

販売数量は前年比2.3%増となりましたが、為替の影響により売上高は前年度比5.9%減の6,382億円となりました。

2 競争力強化に向けて

グローバルな競争が一層厳しさを増す中で、お客様を設計段階からサポートするフロント・ローディング活動（※1）の推進、基幹部品の内製化や製造工程における省機化・省人化をはじめとした抜本的な原価低減活動を推進し、コスト競争力を強化しています。

※1 フロント・ローディング活動 商品開発の初期段階から問題点をつぶし、設計品質を高めておくこと。

3 事業基盤の強化

成長市場への対応のため、各地域で事業基盤の強化を進めています。

- インドでの持分法適用会社の連結子会社化によるインド市場でのプレゼンス向上とより良い商品・サービスの提供
- モロッコ生産拠点の設立（2020年生産開始予定）による北アフリカを中心とした需要への対応

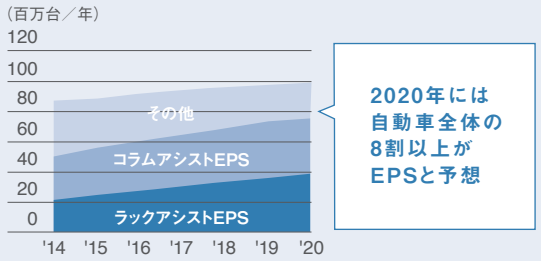
今後の見通し

1 足元の取り組み

ステアリング事業では世界の自動車生産が伸びる中で、グローバルシェア25%の堅持を目標に掲げています。
2018年までは目標を達成できる見込みですが、中・大型車市場の商品構成が油圧からEPSに変わっていくと考えられる中で、ラックアシストタイプEPSのグローバル体制を構築し、お客様の期待に応えることで2019年以降もシェアの堅持を目指します。

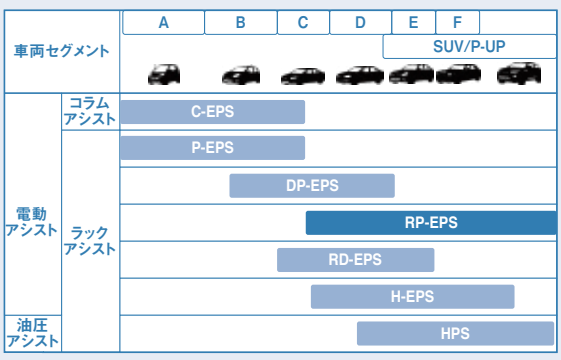
また、現在取り組んでいる抜本的な原価低減を着実に進めることでコスト競争力を強化し、目標達成に貢献していきます。

グローバルでのステアリング市場動向



2 将来への取り組み

自動車台数増加と高齢化が進む中で交通事故防止、渋滞緩和や高齢者の安全運転支援策としてADAS（高度運転支援）（※2）が普及期に入ろうとしており、近い未来、自動運転の実用化も見えつつあります。
安全・安心なクルマ社会づくりをサポートすべく、各段階に要求される性能を満たす最適なステアリングシステムを提供するための開発力強化に取り組んでおり、自動運転の実現に向けたステアバイワイヤ方式のステアリングシステム開発も推進しています。

※2 ADAS Advanced Driving Assistant Systemの略。クルマの先進運転支援システムのこと。

資料-01 ステアリングシステムと適用車両セグメント